

認知症と向き合う①

認知症を正しく理解しよう!

【問合わせ】高齢介護課 ☎84-0644

「認知症」とは、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったりしたために、様々な障がいが起こり、日常生活に支障が生じた状態のことをいいます。半田市では約4,000人の方が認知症であると推計しています。

「軽度認知障がい(MCI)」とは、認知機能が同年齢のレベルよりも低下し、健常者と認知症の中間の状態のことで、「認知症予備軍」ともいいます。半田市では約3,400人の方がMCIであると推計しています。65歳以上の約4人に1人は、認知症かその予備軍であり、どなたにも関係する可能性があるといえます。

もの忘れと認知症の違い

●加齢による「もの忘れ」

記憶

通常のもの忘れ

記憶の一部を忘れることがあるが、ヒントがあれば思い出し、もの忘れをしている自覚がある。

●認知症による「記憶障がい」

記憶

抜け落ちる

記憶の一部が抜け落ちてしまうため、ヒントがあっても思い出せず、もの忘れをしている自覚がない。

- ☐ 物忘れが増えた。
- ☐ 日付や曜日がわからない。
- ☐ 簡単な計算ができなくなった。
- ☐ 財布や鍵など、置いた場所がわからなくなることがある。
- ☐ テレビドラマのストーリーが理解できなくなった。
- ☐ 料理や家事などが、てきぱきとできなくなった。
- ☐ 話しかけられると、今までしていたことを忘れてしまう。
- ☐ 今まで楽しかったことへの意欲がなくなった。

MCIを見逃さないで ●

MCIの状態を放置すると、認知機能低下が進み、5年間で約50%の方が認知症へ進行すると言われています。このMCIの状態を早く発見し、認知症への進行をいかに食い止めるかが、重要なポイントです。

ご自身やご家族について、ぜひ「軽度認知障がい(MCI)チェック」を試してみてください。該当する項目が多く、不安なことがある方は、かかりつけ医や半田市包括支援センターへ相談してみましょう。

【半田市包括支援センター】

雁宿町1-22-1 雁宿ホール内
☎23-8144

Q 認知症は治らないから、病院に行っても仕方ない?

A 認知症の症状を和らげたり、進行を遅らせたりする治療があります。また認知症の症状を示していても別の病気の可能性もあります。早期発見・早期診断・早期治療は、認知症にとっても重要なポイントです。

Q 認知症を予防することはできるの?

A 認知症は防ぎようのない病気と思われがちですが、高血圧、糖尿病、肥満等の生活習慣病の予防や、活動的で充実した日常生活を送ることは、認知症の発症や進行を遅らせる効果が期待できます。

認知症を正しく理解しよう

市では、「認知症になっても、誰もが自分らしく暮らせるまち・はんだ」を目指し、一般社団法人半田市医師会及びエーザイ株式会社と「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」を締結しました。

この協定により、認知症の理解促進、早期発見・早期治療、医療・介護等関係者のネットワークの強化を推進していきます。

